学校・保育所のあり方地域説明会と町政懇談会

意見・質疑応答の概要

日　時	令和６年７月 31 日（水） 18:30～20：30		会　場	新町公民館
参加者	15 名	町出席者	町長、副町長、教育長、 学務課長、石川代理、祐征主査、里子主任、 企画財政課長、刈田代理	

○学校・保育所のあり方地域説明会

番号	質疑・意見	応　答
1	（鍵飯　男性） 送迎サービスと登園時間について。現状だと町立が 8：30 登園、私立が 9：00 登園となっておりますけども、登園時間も町立と私立で合わせるのか、また統合したときの送迎サービスについてどうお考えかをお聞かせください。	（学務課長） 保育サービスの内容については、湯田地区、沢内地区、私立も町立も同じ形にします。統一した考えで保育サービスをしていくということになります。 送迎については何かしらの支援はしなければならないと思っています。ただ先ほどちょっと紹介あったように、保育所、小学校、中学校が一体となれば、同じ位置になれば送迎の部分で考えられることも増えてくると思いますし、今後場所をどこにするという部分も出てくるかと思います。そういった部分を踏まえながら、送迎については手立てをしたいと考えているところです。
2	（鍵飯　男性） ありがとうございます。送迎のところで例えばスクールバスを利用するとか、小・中・高あと保育園も一体とした場合、スクールバスを使った場合とかを検討したときに、安全性のところ、よく置き去りになったりとか、そういうことが	（学務課長） 特にそのところが課題になってきます。例えば小さなお子さんですので、普通の小学校とか中学校の方と一緒に乗れるかというと、様々な課題がありますので、そういった部分は考えなければいけない部分です。あとバスの機能、今は

	年々ちょっと出てきてる部分もあったので、そういう安全性のところとかも、検討していただきたいなと思いますので、そこら辺もお願いします。	シートベルトを絶対しなければならないとか、そういう規制的な部分の課題もありますので、そういった部分を考えながら対応を考えていきたいと思います。
3	（新町　女性） 保育園の給食のときのご飯についてなんですけど、今は０、１、２歳児の未満児は保育園から出していただいてるそうなんですが３歳からの以上児も同じように出せないのか。	（学務課長） ここで即答できる形にはなりませんけれども、そういったご意見をいただいているところの部分で今後の検討ということにさせていただきたいと思います。
4	（新町　女性） 町が沢内と湯田で一緒になった時に、保育所も町立と私立が一緒になって町立になるのかなと思っていたが、そのままずっと町立と私立の流れできている。 今ここであり方として考えている今こそ町立にした方がいいんじゃないかというのはないのか。あとやはり小中学校の連携については、ずっとずっと先を見たときに中学校の学習のあり方とか、小規模がいいと言っても、やっぱり中学校が 15 人とか 10 人とかになってきた時にちゃんとした運営ができていくのか、子供たちが本当に満足した教育ができてくるのかっていうのがとても疑問に思っています。 町に一つというやり方で、町のサービスをそこに一点に集中して、子供たちの送迎から何から運動施設から、全部子供たちも親も満足するような教育のあり方を考えていったらいいんじゃないかなというふうに思いました。	（学務課長） 公立私立の統一という部分は合併時からの課題でありました。ただこの課題を解決してから保育所のあり方検討を進めるのは、あり方検討の議論がこの統一の協議の時間で進まなくなる形になる。公立私立の課題については、今のあり方の部分の議論には持ち込まないというか、そこをクリアしなければないとすると、また時間がかなりかかっていく課題でもありますので、そこはそこで別に町と愛児会さんの方で今後検討を進めていくという形になろうかと思います。 また、教育環境という部分は、実際これで進めるということになれば、どういったことができるかというのは、当然学校の先生方も含め、保護者の人たちも含めた形で、より良いものを作り上げていく形を考えて進めていくことになろうかと思いますし、人数が少なくてもそれがメリットとして、個々に対するその学習の指導が充実できるという部分もあろうかと思いま

		すので、そういった部分をメリットとして大きく町内の方々だけじゃなく、その他の方々から見ても、良い教育環境だなと思えるような教育環境作りをしていかなければならないと思っているところであります。
5	（新町　女性） 　統合していつもモヤモヤしている部分があったりする。先日、湯田と沢内の子どもたちが音楽交流会で一緒に同じステージで笑顔で歌えた。そういうのを見ると横の連携というか、同じ町内なのに湯田と沢内は何か別々のことをしているような寂しさがある。 　これからもまた小学校も中学校も湯田と沢内だと、分断じゃないけど、それぞれの交流が薄まるというか、親同士、地域同士の関りが、やはりまだ一緒になれないんじゃないかという気持ちもあります。	（教育長） 　どれが正解というのは無いんですけれども、今心配されたようなことをクリアしていかなければならない。例えば今はリモートでできたりする。行事については真ん中のどこかに集まってとか。修学旅行も別の地域では、何校か一緒に修学旅行に行っている地域もあります。そういう交流をしていければ良いかと思っている部分もあります。 　最近、中学生にアンケートを取ってみました。そこにはいろんな考えがありましたが、割合で言うと、統合したいというのが１に対して、今のままで頑張り続けたいというのが２です。それぞれの良さを引き出し合いながら統合すると良い学校ができそうだという意見もあります。たくさんの人がいると新しいことが始められるという意見もありました。 　ただ心配してるのが、統合すると移動距離等で入学しようとする人たちが減ってしまうんじゃないかと、中学生がこういうことを心配している。移動距離に関して、やっぱり住みにくいよね、というふうになることも心配している中学生がいて、今の文化を作り上げながら、ある時にお互い合同で行事

		をして出し合うのも良いんじゃないかというよなことも言われている。 　子どもたちの意見もだし、大人の意見もあると思いますので、考慮しながら一緒に検討していきたいと思っている。 　今のところは町としても検討委員会で出された方向で進めていきたいと考えているところです。
6	（鍵飯　男性） 　統合するに当たりまして、０歳児保育について、現状ですと１歳になる月からの入園という形になりますけども、その前からの入園０歳児の時期からの保育入園というところについてどうお考えかをお聞かせください。 　私の職場は育児休業が取れない職場なので、子育てをお母さんが一人で担っていかなければいけない現状を考えると、０歳児保育のところをもうちょっと検討していただきたいと思っています。	（学務課長） 　今は、０歳児保育というか乳児保育ができていない状況にあります。そちらの方はやはり乳児を預かるという部分ですので、施設的にも人的にもその体制を取らなければ預かることがちょっとできないというところで、今の保育施設もですけれども、人的体制も取れないところで、まず実現できてませんけれども、新しい新保育所ができるとなれば、保育士の人数もある程度集めることができますし、新たな施設としてそれなりの施設を考えることもできると思います。 　ですのでそういった人数的な部分、統一することになって増えることによって、０歳児保育とか、延長保育とか、そういった部分の保育サービスの充実の方に向けることができるのかなと思ってますので、これからそういった保育サービスの充実に向けて話し合っていきたいと思ってます。
7	（新町　男性） 　６年度に方向性を決定したいと書いてありますけれども、４番で学校等のあり方に関するアンケー	（学務課長） 　保育所の方につきましてはアンケートは実施済みの状況ですけれども、学校のあり方に関するアン

	ト結果を踏まえてとなってますけれども、これからアンケートを実施するということですか。いつ実施して６年度に方向性が決まるか教えてほしいんですけれども。	ケートはこれからになります。 ですので地区懇談会が終わって、そして保護者説明会、小中学校の保護者、保育所の保護者を対象とした説明会、そういった部分を踏まえながらアンケートもしますので、そこはちょっとこの後になるので、秋口ぐらいになろうかと思います。
８	（新町　男性） アンケートは全世帯ですか。	（学務課長） 学校のあり方の方のアンケートについては子育て世代を対象にということを考えております。
９	（長瀬野　女性） 保育所のあり方の方で、保育所の先生方の意見はどのように取り入れられたり、情報共有していたりするのでしょうか。	（学務課長） 保育所の職員の方々にも意見を聞く場を設けることにしたいと思っております。というのはやっぱり新しい施設をつくるとなれば、施設の使いやすさだとか、そういった部分はやはり保育士さんの意見が重要だと思ってますので、そういった部分を特に保育士さんの方から意見を聞きながら進めていかなければならないと思ってますのでそこはやっていきたいと思っております。
10	（長瀬野　女性） もちろん施設のことですとか、保育内容のことは、保育士の先生方の考えなしにはできないことだと思うんですが、統合するかどうかみたいなところでも先生方いろんなお考えをお持ちなのかなとか、情報が十分行ってなくて不安だとかというようなことはないのかなと心配しているところなので、そういったところも配慮していただければなと思います。	（学務課長） 所長さん方と協議しながら進めてまいりたいと思います。

11	（長瀬野　女性） 所長だけではなく。	（学務課長） その内容をどうやってやるかという部分を所長さん方とまず話し合いながらしていきたいということです。
12	（新町　男性） ３点伺いたい。 １点目。保育所、学校それぞれの委員会の各会の出席状況と出席率。 ２点目。先ほどの登園時間に関する質問で、統一するという回答だったと思うが、私立の了解を得た上でしょうか。 ３点目。保育所を統一するというときに、新町の保育所っていうのは、選挙で使ってるんです。例えばそういう保育園としてではない利用などをどのように考えているのか。	（髙橋主査） 保育所の方のあり方検討委員会の委員は、保育所の所長先生方、保護者の代表の方、あとは民生委員や、社協の方とかを含めて 15 名になります。委員会は全５回開催しておりますけども、１回目は２名欠席の 13 名が出席、２回目は４名欠席の 11 名、３回目は 15 名全員出席、４回目は２名欠席の 13 名、５回目は１人欠席の 14 名の出席状況となっております。 （石川代理） 学校の方ですが、委員は全部で 19 人で、１回お休みされた方が６人ぐらい、最終回は２人欠席されただけで他は全員出ておりましたので、今回の会議に関してはかなり出席率は良かったという認識であります。 （学務課長） 登園の関係とか保育サービスの統一、私立の方と了解とれているかという話ですけれども、この保育所のあり方検討委員会のメンバーにも愛児会の方々に入っていただいておりますし、保育園の保護者の代表の方々も入っていただいております。そして、それとは別に愛児会さんの方とも代表に来ていただいて、今後の保育所のあり方についても意見交換させていただいておりますので、その中では統一した保育サービスを提供すると

		いうことに関しては意思疎通できております。 　新町保育所の施設利用については、今は具体的にこうするというところは持っていないところですが、当然新しい施設というところになれば、そういった課題も出てきますので、その部分も含めて皆さんと話し合いながらになってくると思います。

○町政懇談会

番号	質疑・意見	応　答
1	（新町　女性） 　町政懇談会にも初めて来たんですけれども、何か資料があるのかなと、町が今までどんなことを目指してきたのかとか、これからどんなまち作りを目指していきたいのかっていう、本当にそのグランドデザインっていうのが見られるのかなと思って来たんですけど、資料が一つもなくて何かそこがとても残念に思っていました。 　どこからどういうふうに話したらいいのかっていう、考えるきっかけを欲しいと思いました。 　これからはそういう資料を準備していただきたいと思います。意見です。	（企画財政課長） 　ご指摘の通りだと思っております。大変反省しております大変申し訳ございませんでした。何かご意見をと言っても何もきっかけがなければ話せないなと思っておりまして、大変申し訳ございませんでした。 （副町長） 　すみません。その部分ではいろいろやはり出してきっかけ作りは必要なんだろうなと改めて思いましたので、今後そこは対応したいなと思います。
2	（新町　男性） 　町長からのお話しで、町は厳しい状況である。財源が特に厳しいという話をされてたと思います。 　今回の合併の話では１ヶ所であれば、２ヶ所よりもお金かからないんじゃないかなと単純に考えてたところですけれども、バンバン建てて保育所まで建てるっていう	（企画財政課長） 　財源につきましては、当然町の財政が厳しいという話は、町長から申し上げた通りで間違いございません。 　ただ厳しい中で、最低限やらなければいけない行政サービスというのは必ずあるわけですので、厳しい中を何とかやりくりして、必

	ことで、財源的にはこれ大丈夫な話なんでしょうか。	要な行政サービス水準を維持していかなければならないだろうと思っております。具体的な話にはなりませんけれども、大丈夫かと言われれば、大丈夫ですというふうにしかお答えできないんですけれども、大変町の事情をご心配いただいてありがとうございます （副町長） 保育所も昭和47年頃の建築の建物で、一度中をリフォームしたことはあるが、だいぶ本体的にも非常に古くなっていて、建て替えの時期にきていると思っています。 そういう中で新たな施設の含みを持たせてサービス提供を拡充できれば非常にいいのかなという部分の考え方もあり、いろいろ話し合いを持ったというところがありますので、四つ五つ作るのか、それとも二つにするのか一つするのか、となれば施設整備の部分のお金も、数多く作るのと少なくするのとでは金額も違ってくるというところもありますので、その辺を考慮したというのがあります。
3	（鍵飯　男性） 子育て住宅の整備について、沢内地区の方にも整備できないのか、あと町営住宅の方もですけれども保証人が必要でなかなか入れないとかっていう人が多くなってたりとか、そういう部分もありますので、保証人なしで入れるようにできないか、考えをお聞かせください。	（企画財政課長） ご質問の子育て住宅につきましては、おそらく上野々地区の方に整備する予定の住宅のことを指してのことだと思います。今回そこに町有地がございまして、そこにすぐ着工できる状態の土地があったため、今回は上野々地区に整備をするものでございます。今後につきましては、これからいろいろと町の中でもその必要性を含めて検討させていただいて、当然湯田地区だけということではなく、広

		く全町に可能性があると思いますので、今のご指摘を踏まえて検討してまいりたいと考えております。 　それから、町営住宅の保証人の件ですけれども、確かに今は保証人がいないと町営住宅入居できない仕組みに西和賀町の場合はなっております。他の自治体では人ではなくて、お金で保証人の代わりという制度もございますので、それも含めて町の方で検討しているところであります。
4	（鍵飯　女性） 　私は西和賀町に来て５年ちょっとですが、子育てをしていく上で子供を増やしたりとか、あと子育てに関する住宅を増やしたとしても、子供がまず少なかったり、働くところがまずないっていうところで、やっぱり若い人たちもいなかったりして、いいところなのに来たら働くところがないってなったときに、私みたいに免許がないと、北上に行くにしても、電車を使うにしても電車の時間が少なかったりとか、交通の便が少ないなと思いました。 　もう少し何か働ける場面だったりとか、もちろん障害者の子たちも働けるところができればなと思いました。Ｂ型事業所だけじゃなく、一般就労でも働けるところをいっぱい増やして欲しいなと思いました。	（企画財政課長） 　一般的なお話になって恐縮ですが、まず働く場所が町内に少ないのではないかというお話ですけれども、一方で町内の各事業所では、今、空前の人手不足に陥っていて、なかなか何をやるにも人がいなくて、次の事業に取り組めないというお話をよく聞きます。 　もちろん働きたい職があるんでしょうけれども、誤解を恐れずに言うと、仕事を選ばなければ職場は沢山あります。むしろ人手が欲しい事業所だらけでございます。 　ただ、いろいろご事情もあるようですので今日のお話はご意見として承っておきたいと思います。
5	（鍵飯　男性） 　おでかけバスについて、県道の方はほぼ毎日乗れるような形ではあるが、東側幹線沿いが週２回と	（企画財政課長） 　バスにつきましては財政的な事情もありまして、その中で可能な限り皆さんの利便性に配慮した形

	か本数が少なかったりして、交通の便が不便だと感じる。本数を増やしたりとか、ちょっとコースを変えたりはできないでしょうか。	での運行を心がけているつもりではありますけれども、引き続き利用者の皆様方のご意見を参考にしながら、できる限り皆様方に利用しやすいような運行体制を考えていきたいと思っております。
6	（鍵飯　男性） バスが来る時間がわかりにくい。わかりやすく見れるような体制、例えば携帯のアプリとかパソコンでも見れるような、あとホームページの方にも時刻表などを掲載してもらえればバスを利用するにも利用しやすいと思うので、検討をお願いしたい。	（企画財政課長） バスに関しては、こちらの周知不足もあるかと思いますけれども、まず時刻表はホームページから見れるようになっております。それからバスロケーションシステムというものを２年ほど前から導入し、スマホで今バスがどこまで来てるかがわかるようなシステムも導入になっております。こちらもホームページからそこに行けるようになっているはずですので、詳しくは企画財政課のバス担当の職員にお問い合わせいただければ、お教えできると思います。
7	（新町　男性） 財政が厳しい、お金がないというお話ですけれども、地区の協議会というか、地区に助成金もらって地区の運営をしていますが、こちらはますます少なくする方向で検討しているのか、それとも何とかいろいろ助けていきたいという考え方で検討しているのか。	（企画財政課長） 今のご質問でいくと後者です。なんとか助けたいと思って検討しています。お金があるのに少なくしようとは思っていません。なんとか地域に支援したいとは思っております。
8	（新町　男性） この間役場の総務課の方から９月に会議があるので、何かあったら要望書を提出してくださいということでありましたけれども、今日、集落支援員さんの方に去年の７月にも要望書を町に提出しているんですけれども、返事がほとんど無いというか、あやふやな、それ	（企画財政課長） 建設水道課、農業振興課の方に確認してるのかもしれませんけども、改めて私の方からそういう話があったということは伝えておきます。

	こそお金がないという返事だけでしたけれども、長原に行く線ですけれども、道路が30センチ以上大きく欠けてきていて、知らずに車で行くとタイヤが落ちる程度の穴になってきています。 　今年も農業振興課に言いましたし、去年も建設課にも言っているんですが、あの辺りは緊急でやってもらわないと大変だと思いますのでよろしくお願いいたします。 　町道の脇に水路があって、その水路が水漏れしていて、道路の方に流れていて、道路が陥没し始めています。	
9	（新町　男性） 　応急処置でも良いから、何かしないと危ないと思います。	（企画財政課長） 　その旨伝えておきます。 （副町長） 　担当課と現場を確認します。
10	（新町　男性） 　昔の誘致企業の建物が、ガラスが割れたりとか、そのままの状態。あれはこれからどうなるとか、どうしようとしているとか、何かあるのでしょうか。	（企画財政課長） 　確かにそういう今使われていない、いわゆる空き家状態の建物が数軒あることは確かです。 　それにつきましては、例えばトタンが風で飛ばされたりですとか、そういった緊急に処置が必要なものについては、町の方でその都度行って、即時執行と言いますけれども、そういう応急処置を、トタン等が飛ばないようにロープ等しております。 　根本的には、建物の所有者の方の責任で適正に維持管理をしていただかなければならないことになりますので、建物の所有者にはそのような指導はしているところでございますが、なかなか対処していただけないという部分があるかと思っている。

11	（新町　男性） 　所有者の実態はあるのでしょうか。	（企画財政課長） 　どこか特定の建物のことを指しているのかわかりませんが、所有者はいると思います。
12	（新町　男性） 　ということは、当時誘致企業だったところと連絡は取りあえているということですね。	（企画財政課長） 　連絡を取り合っているわけではありませんが、取ろうと思えば取れるということだと思っております。直接の担当では無いですけれども、取っているという認識でおります。
13	（新町　男性） 　向こうが動いてくれなければ、こっちだけがお金がかかることになりますもんね。	（企画財政課長） 　そういうことです。
14	（前郷　女性） 　質問ではなく、こんなことが出来たら良いなと言うことですけれども、アンケートにも書いた。 　どうしてもこういう説明会だとやっていない事を責められたりする機会が多いと思うんですけれども、やってくださっているなと感じている事ももちろんある。例えばコロナの子育て給付金が振り込まれるタイミングは県内でも早かったと感じていますし、子ども医療費給付とか、すごくやってくださって感謝していることもあるので、やっていないことではなくて、やっていることを是非みんなの目に触れる機会があれば良いと思っている。 　例えばイオンのスーパーにある店長の声みたいな形で、「こんなことをしてくれませんか」という質問に対して担当課長ですとか、町長が「こんなご意見がありましたので、こうしました」ですとか「こ	（副町長） 　ご意見ありがとうございました。

	ういった理由でできません」とか、そういったものが病院ですとかオセンとか、各庁舎で見えるような形であれば、やれないことばかりではなく、やってくださってることもたくさんあるなと感じられるので、個人的にはそういったこともできたら素敵だなと思います。	